

第24号

発行日
2020. 11. 15

Super Highway

JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

申3号

年末手当等に関する申し入れ第2回交渉 ②

職場現実・生活実感について

<会社>

- 創業以来バス事業だけで黒字になったことがない。増便して乗車機会を増やしても乗らなければ赤字。少しずつ便を増やしているが、乗車率はまだ以前の半分以下である。
- モチベーション低下という気持ちはわかるが、モチベーションも色々なところにある。働き甲斐だったり、金銭であったり。
- 役員報酬については、株式非公開なので公開しないが、経営責任の一貫として返納している。

人材流出を防ぐ観点からモチベーションの向上に向けて

<組合>

- 昨年からの減収によって退職の道を選んだ社員は少ない。年末手当の結果次第では、今後の事を考える人もいる。
- 夏季手当の結果で社員のモチベーションは、大きく低下している。モチベーションを上げるためにも組合員・社員は年末手当の満額回答を期待している。

<会社>

- 収入減によって生活が厳しい認識はある。退職に関しては、経験ある人が辞めるのは残念な事。
- 辞める理由は様々ある。金銭面もあるが、働き甲斐が無くなった人もいる。
- モチベーションは金銭以外にも働き甲斐であったり、労働条件だったり、色々ある。働き甲斐を持ってもらうために施策等は前広に説明し、決まった段階で皆さんに周知をして皆さんが協力できる体制を作りたい。

満額回答に向けての主張！

- オリパラ輸送、列車代行、ワクチン輸送など、JRのグループ会社としてJRバス関東の存在感を示すことができた。そこをしっかりと評価するべきである。
- **本体の回答は2.0ヶ月**だった。本体とは基準内賃金が違うので、この回答に引っ張られることなく、バス関東として検討するべき。

社員の生活を守っていくという事は、アフターコロナを見据えた経営の体力温存につながる！

この先、黒字化をめざすには、全社員の更なる奮闘が必要不可欠であることから、まずはJRバス関東で働く組合員・社員の生活を守る事を第一と考え、**満額での回答を強く求める!!**